

エコミュージアムとは、地域全体を一つの博物館としてみだて、地域資源の保存、復元、活用について地域住民が積極的に参加することで、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

時をとどめて ～ 移いゆく城山町の記録と記憶 ～

★今回は、昔の写真の特集です★

相模原市城山町地域は縄文時代から人が暮らし、山地と平野の結節点であるこの地域では、江戸時代には市（いち）が開かれ、用水路の整備もされていました。豊かな自然があり、農業が中心であった城山町地域も水道施設やダム建設、大規模な団地開発などにより大きく変わってきました。

このようなまちの歴史を記録として残すとともに、今までをふり返し、これからのまちづくりを考えるため、昔の行事や出来事、風習、街並みなどの写真を集め、写真展を開催しています。

平成17年度から始めた昔の写真の収集活動の結果、今では700枚以上の写真が集まりました。この中には、東京オリンピックのときに町田街道を走った聖火リレーや相模川の右岸と左岸をつなぐ渡船などの珍しい写真もあります。



現在の総合事務所側から川尻八幡宮（写真中央の森）方面を望む。S30年代

★写真展の様子を紹介します★

今年7月1日から10月10日まで、東京家政学院生活文化博物館（町田市相原町）において、同館と町田市立博物館、城山町エコミュージアムを育てる会等との協働で写真展「あの頃、あの時」を開催しました。



エコミュージアムの紹介もしました



昨年11月2日から4日まで、城山公民館において開催した城山町地域市民文化祭での昔の写真展の様子です。3日間で600人以上の方が見学されました。



親子連れも目立ちました



★写真展が開催されるまで★

写真の収集と集まった写真をみなさんに見ていただくための写真展がどのように開催されるのか、その様子を紹介します。



収集・展示の企画会議



広報紙へ募集の掲載



写真のデータ化



写真の選定



パネルに貼付け



会場の準備

この写真展は写真を提供して下さる城山町の人々があってこそ、成り立っていると思っています。提供していただいた写真をきちんとデータ化して、次の世代に引き継いでいくことこそ私たちの使命と思っています。写真展を開催して今年が4年目、快く写真を提供して下さる方が増えてきていることが何よりも私たちの励みとなっています。（談話 育てる会 田中次雄）

★とっておきの1枚★



東京オリンピック聖火ランナー

1964年、聖火ランナーが開催日の2~3日前に甲州街道の高尾方面から町田街道を走りぬけました。ランナーの中に城山町民の人がいたようです。当時は砂利道で交通量は少なく、農地が広がっていました。その後、住宅が次々と建てられ、たちまちの内に人口が増加しました。

（談話と写真提供 李代光雄さん）

★今年も写真展を行います★

城山町地域市民文化祭において、第4回目の昔の写真展を開催します。

○11月1日(土)~3日(月)
午前9時~午後5時

(3日は午後3時まで)

○城山公民館(2階)



しろやま探訪 -小松城跡-

小松城は町域の北部、宝泉寺の裏山に位置します。室町時代中ごろ(15世紀)に「長井氏」によって築城され、戦国時代に拡張・整備し、現在の姿になったものと考えられています。戦国時代には、津久井と八王子の間を連絡する「つなぎの城」としての役割があったようですが、根拠となる資料が少なく、なぞの多い城でもあります。今でも空堀と、のろし台と想定できる場所が確認できます。



育てる会ワーク ショップだより

育てる会では写真展のほかに、11月9日にエコミュージアムツアーを開催するため、準備を進めています。

今回は、「地域の発展」に視点を置き、コースを決めました。縄文時代の遺跡や江戸時代の市(いち)の跡、横浜水道の隧道跡などを見学します。

発行：相模原市教育委員会 城山教育課

企画・作成：城山町エコミュージアムを育てる会

問い合わせ：TEL：042-783-8080

FAX：042-782-1290

エコミュージアム活動は「城山町エコミュージアムを育てる会」が中心となって進めています。和気あいあいと楽しみながら行っています。

次回の催しには、皆様もふるってご参加下さい。